

3 - 9 山北および丹那地区精密ひずみ測量結果

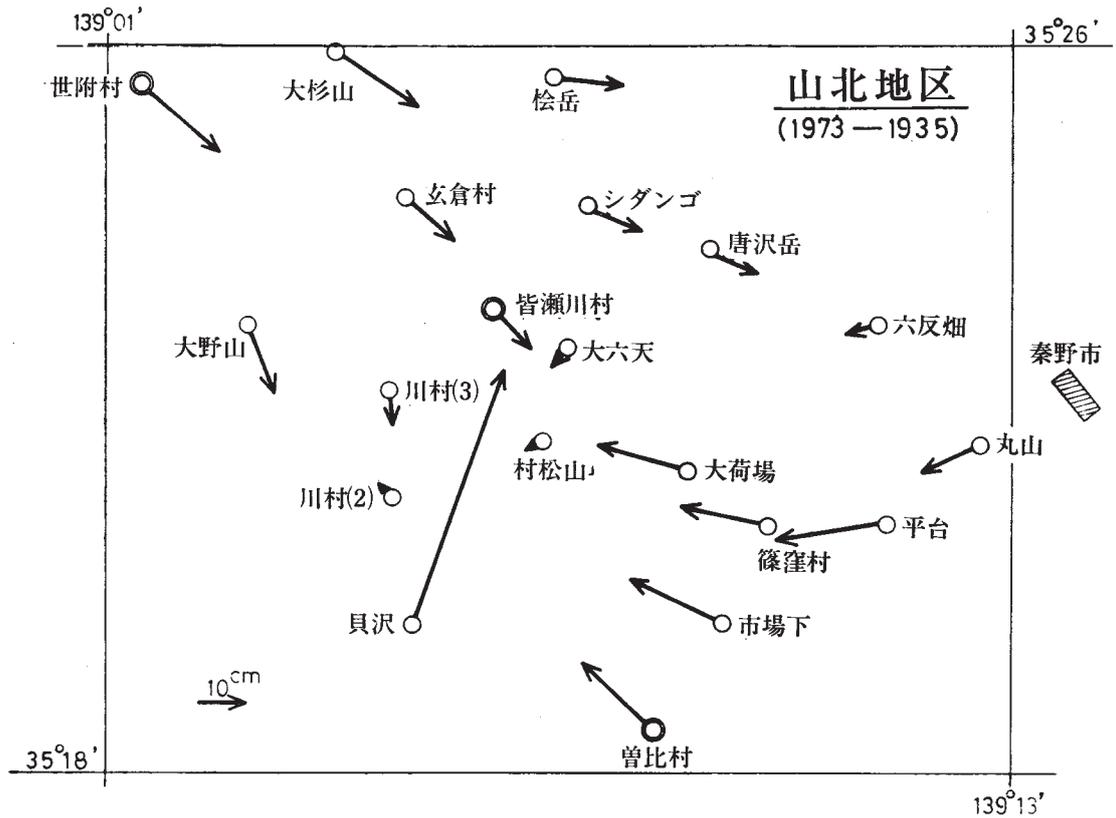
Precise Strain Measurements in Yamakita and Tanna Regions

国土地理院 測地部
Geodetic Division,
Geographical Survey Institute

1974年度より始まる精密測地網計画の試験測量として、二次基準点測量による精密ひずみ測量を伊豆半島の山北、丹那地区で行なったので、その結果を報告する。比較する前回の値は北伊豆地震（1930年、 $M = 7.0$ ）後の、山北地区については改算値、丹那地区については改測値である。

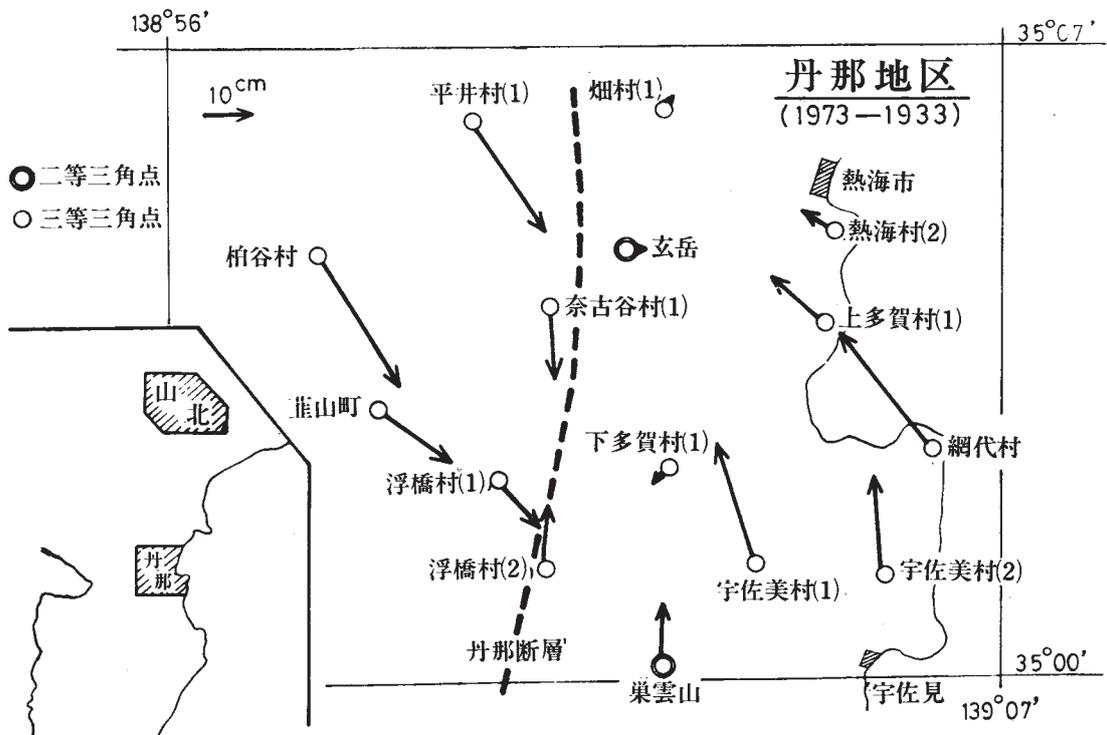
第1図は山北地区の水平変動ベクトル図である。世附村～大杉山間の方位角が変化しなかったと仮定して求めたものである。国府津・松田断層は右下から市場下、川村(2)を通っている。

第2図は丹那地区の水平変動ベクトル図である。図中の点線は北伊豆地震の際に生じた丹那断層（左ずれ）を示す。巢雲山～浮橋村(2)間の方位角は変化しなかったと仮定し、 $\sum \vec{v} = 0$ の条件で求めたものである。図から明らかなように、断層をはさんで変動の方向が反対になっている。断層上で変位がゼロになっていないところは、地震後、断層が横ずれ運動を続けたことを示すものであろう。



第1図 山北地区の水平変動ベクトル

Fig. 1 Horizontal displacement vector in Yamakita region.



第2図 丹那地区の水平変動ベクトル。破線は丹那断層を示す。

Fig. 2 Horizontal displacement vector in Tanna region. Broken line denotes Tanna Fault.